

とよかんだより

2017年10月号 No.151
発行：桑名市立中央図書館
電話：0594-22-0562
FAX：0594-22-0795



『13年間のベストリーダー・スタッフのおすすめ本』



サブ特集は児童文学の編集者、作家、翻訳者として活躍した『石井桃子さんの本』です！

『おおきなかぶ』(A.トルストイ/再話)

『おさるのジョージダンパーにのる』(M.レイ/作)

『さっちゃんのまほうのて』(たばた せいいち/共同制作)

『スーホの白い馬』(大塚 勇三/再話)

『だるまちゃんとてんぐちゃん』(加古 里子/作)

『どろんこハリー』(ジーン・シオン/作)

『バムとケロのおかいもの』(島田 ゆか/作)

『へんしんトイレ』(あきやま ただし/作)

ほか

石井桃子さんの本(翻訳本・絵本・児童書・関連本ほか)

『うさこちゃんのたんじょうび』(ディック・ブルーナ/作 石井 桃子/訳)

『クマのプーさん』(A.A.ミルン/作 石井 桃子/訳)

『ピーターラビットのおはなし』(ビアトリクス・ポター/作 石井 桃子/訳)

『ちいさいおうち』(バージニア・リー・バートン/作 石井 桃子/訳)

『イギリスとアイルランドの昔話』(石井 桃子/編・訳)

『たのしい川べ』(ケネス・グレーラム/作 石井 桃子/訳)

『ノンちゃん雲に乗る』(石井 桃子/著)

『子どもが本をひらくとき』(石井 桃子/著)

ほか


『石井桃子の翻訳はなぜ子どもをひきつけるのか』(竹内 美紀/著)

おはなし会で使われた絵本

『あかまるちゃんにくるまるちゃん』KAE Δ
上野 与志/作 ひさかたチャイルド


『ねえだっこ』KAE Ψ
市川 けいこ/作 校成出版社

本のだめい
あかまるちゃんと
くるまるちゃん



こんなところがおすすめ！
丸い形からいろいろな動物や
自動車にのって行くので、
次じどの絵がくるのか
楽しみに読めると思います。
なまえ(ペンネーム)
Terawa
ねんれい 14 さい

本のだめい
ねえだっこ



こんなところがおすすめ！
いろいろな動物がひいてきて動物が
好きな子にオススメです!!
また、読み終わった後にだっこをしたく
なるような本です。
ぜひ、親子で読んでみて下さい!!
なまえ(ペンネーム)
佐木 桃香
ねんれい 13 さい

☆今月のティーンズの特集も

『職場体験生・子ども司書実習生のおすすめ本』です。

職場体験や子ども司書として図書館の仕事の実習をした小・中学生の
おすすめ本を集めました。手描きPOPもぜひ、ご覧ください。



秋の読書週間になんだお知らせ

ストーリーテリングをきいてみませんか？

ストーリーテリングとは

語り手が、本を使わずに聞き手の目を見ておはなしを語ります。

おはなしにそっと耳をかたむけて、想像の世界を広げてみませんか？

(頭でイメージすることは、読書をするために必要不可欠な力といわれます。)

日時：2017年10月29日(日) 14:00~15:00 (予約不要・無料)

場所：児童コーナー おはなし室

耳できいてワクワク・してみてね！

プログラム：『おつきさまのはなし』『舌切り雀』『マメ子と魔物』ほか



この本しってる？

『ぼくパトカーにのったんだ』(KNE)

わたなべ しげお/文 福音館書店 のりものえほんの棚



くまたくんは さんりんしゃが だいすき。
ある日、お母さんから「バターとおさとうを買って
くるから、おにわで まってね」と言われました。
でも、おにわを三周しても お母さんは帰ってきま
せん。くまたくんは、さんりんしゃにのって スー
パーへお母さんをむかえにいくことにしました。
すると…。(1979年刊)

『いちばんのり』(Eバ) 絵本⑩の棚

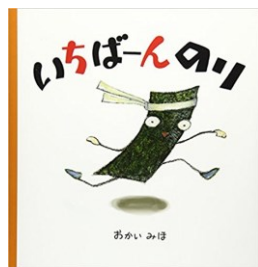
おかい みほ/作 BL出版

運動会の季節ですね。

ごはん村でも毎朝げんきに 運動会がくり広
げられています。

スタートの位置についているのは、
おとうふに、目刺しに、のりになっとう、め
だまやきたちで ひしめきあっています。

「いちについてー、よーい どんぶり」から
始まる、言葉あそびも、絵も楽しい一冊です。
(2016年刊)



ゆめはま文庫アンケートから 26



【1オセット】を借りてみたら・・・

・今回はいろんな絵本が頭に残っているようでした。「おにぎりの本を読もうか？」と言うと『おにぎり』の絵本を持って来たり、だるまさんの本も分かっている様子です。一番気に入ったのは『ちびごりらのちびちび』でした。次は『がたんごとんがたんごとん』が好きなので0オセットにもどります。(0才10カ月)

・『きんぎょがにげた』『だるまさんが』『ちびごりらのちびちび』がお気に入りです。楽しそうに「これっ!」と持ってきて、読むと嬉しそうにしていました。(年齢記載なし)

・『おにぎり』は数回しか読んでいないのに「おにぎり」と言うと、手をぎゅっぎゅっと合わせるようになりました(1才)

・今回、久しぶりに借りました。1才用は初めてだったのですが、読んでほしい本を開いて自分でもってきてくれるようになりました♡ひざに座るように促すと喜んできてくれて、0才の時より絵本を好きになってくれたので、どんどん借りようと思います。(1才3カ月)

・気に入った絵本は何度も「読んで」とせがまれ、自分でもせりふを覚えて言います。このところ「いや」が口癖なので『いやだいやだ』を読んで「OOくんはどうするの?」と本人に問いかけると、恥ずかしそうにしていました。(2才3カ月)

・『どうぶつのおやこ』が大好きです。動物を見ながら「お父さんかなあ?」「お母さんかなあ?」「きりんの首がながいね」など、絵を見ながら、たくさんおしゃべりをしてくれるようになりました。(2才6カ月)

*0オセットに親しんでいると、10カ月でも1オセットの絵本を楽しめるようです。ただ、初めて見るものより、何度も読んでもらって知っている絵本の方が安心してどんどん絵を読むようになり、知っているものを見つけて指をさしたり、絵とことばが頭の中で繋がったり、話せるようになって気づいたことを言葉で教えてくれたりするようになります。『ちびごりらのちびちび』には何回も何回も「だいすき」のことばが出てきます。絵からもちびちびが森のみんなから愛されている様子が伝わります。幼いお子さんは「大好きだよ」の言葉に包まれて、この絵本がお気に入りになるようです。一方、『いやだいやだ』の絵本は「いや」が口癖になった頃や、自分の言っていることがわかるようになる頃に読んであげるのがお奨めです。お子さんの興味に合わせて、各セットを行ったり来たりする(行っては戻る)ことが認知力を育み、成長の変化を実感させてくれます。